

平成 18 年度事業報告及び収支報告

(H18.4.1～H19.3.31)

平成 18 年度事業報告

【年間活動概要】

本年度は、会員と自治体職員などの交流をより一層図るため、会員と名古屋市職員等によるワークショップを開催するなど、近年少なくなっていた自治体職員等との交流活動を行ってきました。

また、「名古屋市におけるコンパクトシティを考える」「まちづくりと連携した名古屋市の総合交通体系を考える」など、コンパクトな街づくりをテーマとした交流会やシンポジウムを開催しました。

【協議会体制】

正会員 25 正会員（平成 19 年 3 月 31 日時点）

1 社退会 （株）ラウム計画設計研究所（名古屋事務所閉鎖のため）

顧問 24 名（平成 19 年 3 月 31 日時点）

前年度と同じ

【事業内容】

1．春の総会および記念講演の開催

平成 18 年 5 月 18 日に、(財)名古屋都市センター大研修室にて平成 18 年度総会を開催しました。総会は正会員 19 社（うち委任状 2 社）、来賓（愛知県、名古屋市）他、全体で 25 名の出席があり、平成 17 年度事業報告及び収支報告、平成 18 年度の事業計画（案）および収支予算（案）役員の選出を行いました。また、記念講演として名古屋市立大学大学院教授の瀬口哲夫先生をお招きし、「良好な都市景観形成のために～新しい時代の景観まちづくり～」と題して記念講演を開催しました。

2．平成 18 年度公開シンポジウムの開催

平成 18 年 12 月 20 日、(財)名古屋都市センター大研修室にて『よみがえったか？中心市街地 - 基盤整備と商業・住宅をあわせて整備した中心市街地の報告と建築・都市開発の提案段階におけるプレゼンテーションの手法の学習 -』と題した公開シンポジウムを(財)名古屋都市センターと共同で開催しました。愛知県、名古屋市から後援をいただき、会員や県下市町村職員の方々をはじめ、約 55 名の参加がありました。

シンポジウムでは、中心市街地の活性化事業の取り組みの事例報告として春日井市の「ダイナミック

な事業展開 - 春日井市勝川地区の取り組み - 」（報告者：春日井市勝川地区総合整備室管理指導課主幹 林恵司氏）と彦根市の「大正口マン溢れるまち - 彦根市四番町スクエアの取り組み」（報告者：彦根市本町土地区画整理組合・彦根市本町地区共同整備事業組合理事長 西村武臣氏）について報告をしていたのち、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授の三上訓顯先生に「都市再生を図るイマジニアリング～開発のデザイン手法について」と題して基調講演をしていただきました。

３．メーリングリストによる情報交換及び、リストの更新

メーリングリストには、平成 19 年 4 月現在で会員・顧問 86 アドレスの登録があります。利用方法としては事務局からの報告（運営委員会や交流会など）や参加確認などの連絡のほか、会員や顧問からの情報提供に利用されました。

４．交流会の開催による会員間の情報交換

会員間の情報交換の場として下表のように 4 回の交流会を開催しました。会は運営委員が持ち回りで企画等を担当したことによって、様々な方法での交流を図ることができました。

月 日	場 所	内 容	参加人数
4 月 20 日	滋賀県東近江市五個荘金堂・近江八幡市	住民参加による歴史的町並みの保存と活用事例「五個荘町と近江八幡市を訪ねる」 【時間】8：15～18：30	17 名
8 月 24 日	愛知県半田市 知多半田駅前地区	「知多半田駅前地区市街地再開発事業 見学会」 【時間】15：00～18：30 ・ 市野和之氏（知多半田駅前地区市街地再開発組合理事長）による講演「クラシティ半田オープン後の現状と課題」 ・ 田中治男氏（半田市建設部市街地整備推進監）による知多半田駅前地区市街地再開発事業の概要説明 ・ クラシティ半田（再開発ビル）施設見学 ・ 懇親会	16 名
10 月 27 日	(財)名古屋都市センター 11 階大研修室	「名古屋市におけるコンパクトシティを考える」 【時間】14：30～17：00 ・ 海道清信先生（名城大学教授）による講演「都市のかたちと持続可能なまちへ - コンパクトシティ論 - 」 ・ 泉善弘氏（(財)名古屋都市センター）による報告「名古屋市における日常生活圏」 ・ 4 グループにわかれての意見交換 ・ グループでの意見交換の内容の発表 (財)名古屋都市センターとの共催	会員 18 名 名古屋市 9 名
3 月 1 日	(財)名古屋都市センター 14 階第 2 会議室	「まちづくりと連携した名古屋市の総合交通体系を考える」 【時間】13：30～16：20 ・ 竹内傳史先生（岐阜大学地域政策学科教授）による講演「公共システムが導くコンパクトな街づくり～ここまで来た、名古屋の総合交通体系論議～」 ・ 質疑、応答、全体討議 (財)名古屋都市センターとの共催	会員 17 名 名古屋市 8 名

５．運営委員会

およそ月１回のペースで、全１２回の運営委員会を開催しました。

運営委員：８名（８社）

運営委員会の開催日程と議題

４月１３日	運営委員会。４月視察会、来期役員の選出、総会資料について等。
５月１０日	(拡大)運営委員会。総会、記念講演について等。
６月８日	運営委員会。今年度の活動方針とテーマ、年間スケジュールと役割分担、８月交流会の企画等。
７月１４日	運営委員会。８月交流会の準備等、９月交流会企画、リーフレットの改訂等。
８月９日	運営委員会。８月交流会の確認、１０月交流会企画、１１月シンポジウム、リーフレットの改訂等。
９月５日	運営委員会。１０月交流会企画、１１月シンポジウム等。
１０月３日	運営委員会。１０月交流会の準備等、１１月シンポジウムの企画等。
１１月７日	(拡大)運営委員会。１０月交流会の総括、１２月シンポジウムの準備、２月交流会の企画等。
１２月５日	運営委員会。１２月シンポジウムの準備、２月交流会の企画等。
２００７年	
１月９日	運営委員会。２月交流会の企画、４月視察会の企画等。
２月６日	運営委員会。２月交流会の準備、４月視察会の企画、来年度以降の運営委員会について等。
３月６日	運営委員会。４月視察会の企画、来年度以降の運営委員会について、総会講演会の企画等。

４月、５月の運営委員会については、平成１７年度の運営委員による開催。

６．ホームページの充実

４月３日時点でのアクセス数はホームページ開設以来 20,463 件であり、１年間で 3,666 件（前年度 16,797 件）のアクセス数がありました。

図書紹介やまちづくり面白講座については、各会員の協力を仰いで資料の拡充を図ったものの、協力件数が少なくなりつつあり、ＨＰの更新が滞り気味となってしまいました。ＨＰの定期的な更新を図るためにどのような対策をとるかという課題が残りました。

交流会等の協議会活動については、参加者に活動報告書の作成をお願いし、写真等とともに掲載してきました。

７．まちコンＰＲリーフレットの作成

リーフレットの内容の更新を行い、交流会、シンポジウムで配布しました。

８．「Ｕ－３４」の支援

１７年度に引き続き「Ｕ－３４」の活動支援として、Ｕ-34 が開催する勉強会に対して勉強会運営費の援助を行う体制をとりました。１８年度の活動としては、交流会が一回開催されました。